

鈴木様　へアレンツキャンプの皆様  
この度は大変お世話になりました。小学校入学後、「先生がゆい」と行き渋るようになり、母子登校と糸経馬食しました。最初は下駄箱までどんどん酷くなり、私が1日教室の後ろにいないとだめになりました。もう私だけでは無理だと思い、へアレンツキャンプに助けを求めました。家庭ノートと週一回の電話カウンセリングは、私ひとりで解決しなくていい、一緒に考えてくれる人がいるということが、とても気持ちよく楽に

なったのと元氣張ろうという勇気も  
ました。担当アドバイザーの鈴木さんに  
具体的なアドバイスももらいながら、少し  
ずつ娘から離れていき、一学期の終わり  
には教室まで私は行かず、下駄箱で  
離れることができるようになりました。  
その後も紆余曲折ありましたが、現在  
2年生の2学期後半ですが、「行ってきます」  
と玄関からひとりで学校に通っています。  
今もものすごく学校が楽しいというわけ  
ではなく、困り事や不安はあるようで  
私に相談してきます。支援前であれは

「こうしたらいいよ」と娘が望んでいないのに私の解決策を押し付けていました。娘に考えさせたり、失敗や成功を経験させてあげられていませんでした。でも今は「そっかあ〜。どうしたらいいかな〜」など傾聴して見守っていると、娘自身で自分なりの解決方法を見つけることができるようになってきました。そんな時、母子登校は辛かったけど、支援を受けて家庭教育を学べたことはバから良かったと感じます。これからも教えて頂いたことを忘れずに娘の成長を見守り

たいと思っています。

鈴木さんには本当にお世話になりました。鈴木さんがいなかったら私も娘もここまで変わらなかったと思います。本当に本当にありがとうございました。

2024年11月12日

